

## 文教厚生委員会 会議録

令和8年3月2日(月)  
午前9時30分 開議  
全員協議会室

### ○委員長(國弘秀之)

ただいまから文教厚生委員会を開きます。

傍聴の申し出がございますので、これを許可してよろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議なしと認めます。しばらく休憩します。

休憩 午前9時30分

再開 午前9時31分

### ○委員長(國弘秀之)

委員会を再開します。請願第1号を議題とします。請願について、改めて委員のご意見をお聞きします。ご意見はございませんか。

### ○沢田清委員

本件請願の内容について述べる前に、我々の会派として、地元の議員も含め、この亀崎の件についてしっかりと意見交換をしてきたことをお伝えいたします。

本件は、半田市と施設を利用する皆様、そして半田市と施設が設置される学校との間で話し合いが行われてきましたが、調整がしきれず平行線のままで感じています。行政、利用者、学校の三者がしっかりと協議する場を設け、互いに歩み寄り、子どもたちにとって何が一番大切なのかを考えていかなければなりません。

また、今後行われる放課後子どもひろばにおいて、物理的な問題がないのであれば、可能な限り亀崎児童センターに近い使い勝手にしてもらえるよう、会派としても強く要望していく考えです。本請願が訴える「子どもの居場所の質の確保」については、議会としても行政に取り組むよう訴えていくべき大変重要な視点であり、請願者に共感するところであります。

しかしながら、請願内容の一部に、行政が進める政策の執行そのものを制約してしまう内容が含まれている点は残念です。我々としては、4月からのスタートに支障をきたさないよう、同じ方向を向いて議論していかなければなりません。

以上の理由から、全部採択とすることはできませんが、請願の趣旨には賛成であるため、趣旨採択としてお取り計らいいただくよう、会派の意見として申し上げます。

○加藤美幸委員

児童センターの廃止に伴い様々な意見が寄せられていますが、今回の請願にあたっての分析や、賛同されている地域団体等の状況を拝見しますと、仮に存続となった場合でも、児童センターを温かく運営し続けていく体制が整っていると感じます。

したがって、私は本請願に対して採択すべきとの意思を持っております。

○山田清一委員

本請願については、提出者の皆様をはじめ、多くの地域の皆様が多大な労力と時間をかけて署名活動を行われたものであり、そのご尽力に敬意を表します。

長年にわたり地域の子どもたちを見守ってきた亀崎児童センターに対する深い愛着や、居場所の確保に対する不安は、保護者や地域の皆様にとって大変切実なものであり、そのお気持ちは十分に理解できます。子どもの居場所は、地域の中で成長していくための大切な基盤です。

その上で、亀崎児童センターについては、施設の状況や市全体の施策との関係も踏まえていく必要があると考えます。一方で、子どもの居場所を十分に確保すること、そして地域や利用者の皆様に対して丁寧な説明を行い、理解を得ながら進めていくことは極めて重要です。行政には地域の思いに寄り添う姿勢が求められます。

よって、本請願については提出者の皆様の思いを真摯に受け止め、その趣旨を生かす形で「趣旨採択」とすることが適当であると考えます。

○委員長（國弘秀之）

その他にご意見はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは、本請願につきまして、趣旨採択にしたいとの意見が出ておりますので、まず趣旨採択について採決を行います。

趣旨採択とすることに賛成の委員の挙手をお願いいたします。

（賛成者挙手）

挙手多数です。よって、本請願は趣旨採択とすることに決定いたしました。

これで文教厚生委員会を終わります。

午後9時34分 散会